


令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 北九州市 】

学校名【北九州市立戸ノ上中学校】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	全学年(全校生徒) 332人
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名(保健体育科・総合的な学習の時間・学級活動)</p> <p>② 行事名(平和の祭典 TONOUE 2021)</p> <p>③ その他()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名()</p> <p>② その他()</p>
4 目標 (ねらい)	<p>コロナ禍における体育大会代替行事として「平和の祭典 TONOUE 2021」を実施することを通して、オリ・パラ教育推進事業の推進を図りつつ、次年度に引き継ぐべき生徒の体育大会の運営スキルを培う経験の場とするとともに、生徒の団結力を深め、生徒同士の人間関係を深め、自己の所属感、有用感を育む。</p>
5 取組内容	<p>令和3年10月17日に、2021年の夏に開催された東京オリンピックをモチーフにした開閉会式を取り入れた体育大会(コロナ禍のため種目を制限)を実施した。聖火やエンブレム、アトラクション等も東京オリンピックのデザインを参考に作成した。</p>
	

<開会式での聖火点灯の様子>

東京五輪のデザインを参考に聖火台を作成



<大会エンブレム>

開会式で美術・イラスト部が作成した6m×6mの大旗を披露
モチーフは校章と市松模様



<アトラクション>

開会式では、ピクトグラムマン（生徒会有志）が全ての競技内容（リレー、ロープ引き、大縄跳び、玉入れ等）を身体表現ピクトグラムで紹介



<メダルの授与>

閉会式では、各学級に金・銀・銅のメダルを授与



6 主な成果

コロナ禍により、様々な行事が中止、縮小を余儀なくされる中、何とか全校生徒が集う、思い出に残る充実ができた。3年生の働きぶりや有志を2年生が引き継ぎ、1年生が上級生たちにあこがれを抱く取組にもなった。

また、本年度当初に掲げた学校目標の「行事等を通して、学級、学年、全校生徒の団結力を深め、行事を成功させることで、生徒同士の間人間関係を深めると同時に、自己の所属感、有用感をもたせる。」を具現化できた。

7 実践において工夫した点
(事業の特色)

東京五輪後に東京五輪の開閉会式の内容を真似ようと思い、10月の実施とした。聖火台の形、エンブレム、ピクトグラムのアトラクション等を真似ることができた。「平和の祭典TONOUE 2021」のあった年に、この取組をしたことは生徒たちの一生の思い出になると考える。

8 主な課題等

「聖火」等は、コロナ禍の無観客での大会だったからこそ実現できたと考える。保護者観覧になった場合、安全面への課題がでるため、コロナ禍でしかできない取組と考える。

9 来年度以降の実施予定

この取組は東京五輪がある年にしかできないものとして企画した取組である。

昨年度から「平和の祭典 TONOUE 2020▶21」を2年に渡り実施してきたが、東京五輪を終えたことを節目に、本年度を最後の実施とする。

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

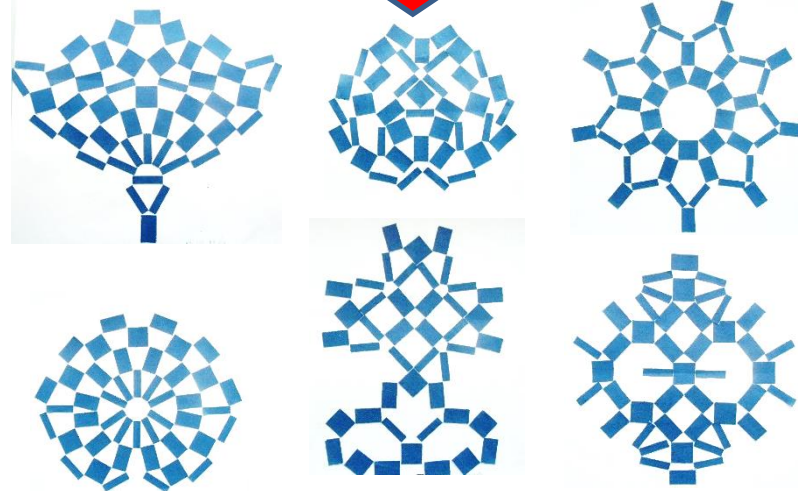
- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 北九州市 】

学校名【北九州市立戸ノ上中学校】

1 実践テーマ	<input checked="" type="checkbox"/> I ・ II ・ III ・ <input checked="" type="checkbox"/> IV ・ V（複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	全学年（全校生徒）332人
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ① 教科名（ 美術科 ）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 （ねらい）	東京五輪をきっかけに注目を浴びた「ピクトグラム」「3つの四角形を使った市松模様」をモチーフに、デザイン画を作成することで、東京五輪への関心を高めるとともに、美術科がねらう創造的な表現力の育成を図る。
5 取組内容	<p>1、2年生「オリジナル ピクトグラム」作成</p> <p>ピクトグラムは、1964年の東京五輪の際、言語に制限されずに内容の伝達を直感的に行う事を目的につくられたデザインです。再び東京五輪が開催される2021年に新たなオリジナルのピクトグラムをつくることにしました。</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; text-align: center;"></div> <div style="width: 33%; text-align: center;"></div> <div style="width: 33%; text-align: center;"></div> <div style="width: 33%; text-align: center;"></div> <div style="width: 33%; text-align: center;"></div> <div style="width: 33%; text-align: center;"></div> </div>

3年生「オリンピックエンブレムをもとにしたデザイン画」作成
 東京五輪のエンブレムは、3種類の四角形（小18、中18、大9の合計45個）を組み合わせたもので、オリンピックのエンブレムは和と多様性を意識した円形、パラリンピックのエンブレムは上昇を思わせる上部が空いた形になっています。両者共にパーツ数は全く同じで組み替えることでそれぞれのエンブレムができるようになっています。そこで、東京五輪と同数のパーツを使いオリジナルのエンブレムをつくりました。



6 主な成果	作成後、全ての職員（事務員等も含む）がお気に入りのデザイン3つを選びシールを貼る（評価する）取組を行った。美術科の資質・能力の育成だけでなく、全職員と全校生徒が相互に交流する取組になった。
7 実践において工夫した点（事業の特色）	導入際、オリンピック開会式のピクトグラムマンやネット上にあるエンブレムの紹介動画を用い、オリ・パラとの関連を強く印象付けた。
8 主な課題等	そこまでの負担がなく、次年度も実施可能な取組である。ただ、オリンピックyearではなくなる中での実施ということでは課題が残る。
9 来年度以降の実施予定	課題の欄に同じ。

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 北九州市 】

学校名【北九州市立戸ノ上中学校】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ V（複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	2年生 98人
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ① 教科名（ 保健体育科 ）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 （ねらい）	シットイングバレーボールを行うことで、バレーボールのボール操作技能の向上を図るとともに、パラリンピック競技に関心をもつことができるようにする。
5 取組内容	<p>保健体育科単元「バレーボール」と関連付け、シットイングバレーボールに取り組んだ。</p>   

6 主な成果	足での移動はもちろん、下半身の動きを制限される中で行うバレーボールは非常に難しいことを体感していた。スポーツを楽しむだけでなく、いろいろなスポーツをいろいろな視点で捉えることのできる「心の成長」が図られた学習になった。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	特別なネットとボールをお借りし、簡単にゲームができるようにルールを工夫した。
8 主な課題等	やはりボールの落下地点に移動しレシーブするというバレーボールの特性とはことなるため、バレーボールとは異なるスポーツである。今後、シッティングバレーボールを保健体育科のカリキュラムに入れるべき内容かどうかという点で課題が残る。
9 来年度以降の実施予定	保健体育科の中では実施しない予定である。